



SENRI KINRAN  
UNIVERSITY

# 千里金蘭大学

# 学 報

〒565-0873 吹田市藤白台 5-25-1 TEL06-6872-0673 (代)

## 平成26年度 保護者懇談会が開催されました

本年度保護者懇談会が9月20日に開催され、全体報告会には97組(食物栄養学科38組、児童学科18組、看護学科41組)、個別懇談会には54組(食物栄養学科17組、児童学科10組、看護学科27組)の保護者が参加されました。

当日は、まず全体報告会において学長から本学の教育方

針が述べられ、次に学生支援センター長から現況報告(奨学金、就職状況等)が行われました。さらに会場を移して、各学科毎の現況報告・個別面談・懇親会・キャンパス見学と順調にプログラムを終了することができました。以下に、当日の学長挨拶(要旨)を掲載します。

### 保護者の皆様へ

千里金蘭大学学長 島崎 靖久

本日は、年に1回開催しております保護者懇談会にお集まり頂き、有り難うございます。

千里金蘭大学は、生活科学部食物栄養学科・児童学科、看護学部看護学科の2学部3学科、1学年の学生定員がそれぞれ80名、計240名、4学年総計960名のこじんまりとした大学です。教育内容は、国家資格取得に関わる食物栄養学科と看護学科、並びに教育関連の児童学科ですので、いずれも必須科目が多く実習や実験を必要としています。こじんまりとした大学であるが故に、実習や国家試験対策等によって学生と教職員との距離が大変短く、親密・緊密な学生・教職員関係が構築されやすいと考えております。教職員もその事を十分自覚して対応して行動いたしております。

大学にとって、何時の時ににおいても学生に合った教育とそれを基盤にした教育の向上が最重要課題です。学生教育の質の向上には、教育環境の整備と共に教職員の質の向上が必要であり、いい環境の下でいい教職員と共に学ぶことが学生教育の向上に欠かせないことです。これらをより積極的に進めて、一層優れた大学として優れた学生を生み出すべく努力を重ねて参る所存です。



具体的には、教育環境の整備、充実と教職員のレベル向上並びに教育の場としての教職員の人格の向上であると考えております。大学教育の基本は、決まった事を決まった様に知識として知ることだけではなく、教職員と学生が共に学び、そこに新しい考えを導入し、挑戦し、それを検証することにあるかと思っております。即ち、新しいものの見方、価値観の創立のための土台を創ることにあります。私たちは、よりよい教育環境を整えるために、学外実習施設を広く求め、出来る限りより優れた実習施設との関係を築き、契約を重ねております。また、学内における実験、実習、研究においても、中央実験室、実習室の整備を進めているところで、多人数収容の階段教室を増

設して授業をやり易くすると共に、一方では、図書館の土曜日開館を始めました所、毎週少なくとも10名以上、時には50名以上の学生が利用する様になって参りました。学生の図書館の利用は単に図書の貸し出しばかりではなく、勉学の場として多くは利用されており、それに伴い図書の充実と学生が勉学する場としての整備も更に必要となつて参りました。また、食堂、売店等の改善のために、来年3月からは千里金蘭大学生活協同組合を設立し、学生の生活環境の改善を図ってまいります。

この様に教育環境、教育の質的向上に向けての対策を充実させるには、財政的基盤がこれ以上必要となつてきております。入学者数の増加を図るべく定員割れしております児童学科定員を減らし、その分看護学科定員を増やすことを申請しております。この現状と今後を鑑みまして、保護者の皆様にお願いを申し上げたく存じております。将来に期待して学生教育にご支援を賜りたく、千里金蘭大学後援会の設立をお願い申し上げます。ご賛同頂けますならば学生、教職員にとりましては大きな後押しとなり、大いなる励みになるものと思われまふ。どうか、その意をお汲み下さいまして、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

本日はまことにありがとうございました。



# 部 局 便 り

## 食物栄養学科

### 保健所での臨地実習の取り組み

食物栄養学科においては、臨床栄養学、給食経営管理論、公衆栄養学の臨地実習が必修科目として設定されており、それぞれの関係施設で実習をお願いしている。本稿ではこの夏期中に実施した公衆栄養学の臨地実習について紹介する。

実習施設は保健所であり、大阪府保健所（7箇所）と豊中市保健所（3班編成）で10グループに分かれて、それぞれ5日間の実習を行った。実習初日は、大阪府庁舎に隣接したホールで、大阪府下の管理栄養士課程6校の学生約300名が会しての合同実習（オリエンテーション）で、大阪府保健所の業務や大阪府民の健康・栄養摂取状況の特徴の説明、保健所での管理栄養士の業務の紹介等が、7時間に渡って繰り返し行われた。

その後8月から9月にかけて、各保健所で4日間の実習に臨んだ。各保健所での課題や事業参加は、それぞれ異なるが、主なものとしては、SATシステム（食品モデルをトレーに乗せるだけで栄養量が計算される）を使っただけの食事診断や栄養指導、コンビニでのライフステージ別に食品の購入傾向を調べ、その問題点の抽出、改善点の指摘、バランスのよい食品の組合せの提案等を行う等が中心の課題であった。

その他、地域活動栄養士会への参加、4ヶ月児健診のときの離乳食講習会の手伝い、「健康づくり

応援団の店」の訪問・ヘルシーメニューの試食等の事業に参加し、行政栄養士の業務の一旦を学習してきた。

5日間の短い実習ではあるが、関係者の協力の下、行政組織における管理栄養士の業務を深く知ることができた有意義な実習であった。（幸林友男教授）

## 児童学科

### あそびのひろば・夏バージョン 〈幸せの黄色いうちわ〉イベント

8月2日、オープンキャンパスに合わせ、児童学科では「しあわせの黄色いうちわ」イベントを行い、200人を超える来場者を迎え思い思いにカラージュリしたうちわを展示した2階食堂横ラウンジは、幸せ色そのものになりました。学内の皆様にも7月からうちわに取り組んで盛り上げてくださいます。あつた。あつた。あつた。

あの3号館2階の大きなガラスに遠目でもよく見える黄色いうちわの行列は壮観でした。児童学科では「あそびの広場」を、子ども向けに年数回開催しておりますが、いつもより、ちょっと盛大に近隣の幼稚園、保育所、小学校の子どもたち、大人たちに「夏の思い出づくりにいっしょにうちわ作りをしよう」と呼びかけました。もちろん、小学校へは、「太陽の広場」でいつも交流している子どもたちへ直接学生達が声をかけました。何分時期が夏休みの真只中なので参加が心配されましたが親子連れの姿がよくみられました。うちわ作品は厳正な審査の上、

優秀作品が選ばれ8月17日に表彰式を行いました。ちなみに1位になったのは審査員全員の票を集めた藤白台小学校の3年生。いろんな素材を工夫してカラージュリし、とても子どもらしい「夏」感覚があふれるものでした。後で分かったのですが実は「きんらん親子クラブ」に5年前通ってきていたお子さんでした。

このイベントは同時に「教育支援人材認証」子どもパートナー資格の取得も兼ねた授業も組み込んでおりました。次は「あそびの広場」秋バージョン、冬バージョンを企画中です。多くの高校生に児童学科をアピールしたいと願っています。乞うご期待！（児童学科・中島保子教授）

## 看護学科

### 里帰り講演会 国家試験合格への花道

〜先輩たちの合格秘話を聴こう〜

去る9月19日（金）、本学卒業生6名のシンポジストを迎え「里帰り講演会」を開催しました。シンポジストは保健師の岡本光さん、看護師の根本星良さん、長谷春夏さん、三宅真紀さん、澤井久恵さん、助産師の田所三幸さんでした。シンポジストの方々の経験談はそれぞれの目標に向かって学習の進め方や生活の仕方など多岐にわたる内容でした。学習の進め方については臨地実習での学習が重要であること、集中力が重要であること、苦手分野を自覚して自分なりの克服方法を考え取り組むことなどでした。また、一日の生

活を整えるという基本的な学習環境づくりや、メリハリのある生活を送ることが良い結果につながるということが話されました。

シンポジウムの後には、卒業生と座談会も企画され、熱心にメモを取りながら話を聞く姿やフランクに疑問をぶるける姿が見られていました。

当日参加した3年生にとっては後期から始まる臨地実習での取り組みが1年半後の国家試験につながる学習であること、そして、臨地実習が終われば卒業研究が待っており、国家試験への道のりが現実的なこととして実感できたのではないのでしょうか。

3年生のみならず、アツという間に国家試験がやってきます。これからの学習は引き締め、自分を信じ、なりたいたい看護師を目指して国家試験を突破してほしいと願っています。（山本直美教授）

## 図書館

### 図書館利用の現況

図書館では2014年3月に2階フロアの情報視聴覚室と閲覧席の一部を改装し、ラーニング・コモンズを開設しました。開設にあたってPC環境を一新し、デスクトップ型PCだけでなくノートPCやiPadを導入しました。持ち運びのできるノートPCは館内の無線LANの範囲内で利用が可能のため、ノートPCを並べて学生さん同士で協力しあいながら学習を行う姿が見られるようになりました。PCの画面はプロジェクターから投影することができ





図書館は学生の皆さんや先生方の声を反映できるよう、改善をはかってまいりますので、ご要望・ご意見等ございましたらカウンターまでお寄せ下さい。

(棚次英美)

ミ発表などにご利用頂いていきます。またモノクロ・片面印刷しかできなかった利用者用プリンタをカラー・両面印刷対応のプリンタに切り替えを行いました。よりわかりやすい印刷物の出力が可能になり授業資料やレポートの作成の際にご利用頂いています。

電子書籍の利用サービスも開始しました。図書館OPAC(蔵書検索)からご利用頂けます。電子書籍の利点の1つは全文検索ができることです。紙の書籍の場合、索引や目次から調べる方法が一般的ですが、調べたい用語がどこに掲載されているかがわからないこともあります。電子書籍の検索機能を利用すれば全ページの中から調べたい用語がどこに掲載されているかをすぐに調べることが出来ます。契約タイトルはまだ少ないですが、ご要望に応じてタイトルを増やす予定です。

今年度の海外研修は、韓国もヨーロッパもそれぞれ好天に恵まれたこともあり、学生諸君にとって大学時代の一つのハイライトとして

行った後、ブリュージュ(ベルギー)、パリ(フランス)を訪れ、さまざまな異文化体験を行ってきました。また英国前田学園の実習も同時期に行われ、3名の学生がロンドン郊外のアクトン幼稚園における実習に参加しました。

韓国では学術基本提携を結んでいる3大学(釜山女子大学、新星大学、梨花女子大学)を訪問し、各種研修(韓国茶道体験他)やホームステイを含む学生交流を行いました。



**国際交流センター  
夏の海外研修**

記憶に残る体験になったと思います。とくに本学における海外研修は「体験と対話」をコンセプトとしています。研修先で出会った友人とFacebookなどで帰国後も連絡を取り合っている姿を見ると、来年もぜひ多くの学生に参加してほしいと願わざるをえません。(岩合智教授)

**生涯学習センター  
地域貢献としての公開講座**

本年度前期、生涯学習センターでは、約30の公開講座を開講しました。文学や歴史の講座、茶道・書道・コーラスなどの文化的体験講座、英語やイタリア語などの語学の講座などに、約380名の地域の住民の方々が参加されました。

少子高齢化の進む社会の中で、生涯学習社会が実現されることを求められています。どのような世代の人々も学ぶ権利があり、社会はその求めに応じる義務がある、というのが生涯学習の理念であり、この理念は、1965年にユネスコで提案されました。しかし、日本では四半世紀もその提案は無視されたような状態で、90年代になってやっといわゆる生涯学習振興法が制定され、各自治体を取り組むようになりました。全国の地域の高等教育機関である大学も、社会の変化とともに、地域貢献が重要な大学の役割となり、生涯学習に取り組むようになりつつあります。

市との教育協定の下その後援をいただき、10年前にセンターを設立して生涯学習活動に取り組み、今年年間延べ10000人の公開講座参加者を数えるようになり、地域に生きる大学としての役割を果たすようになりました。今後も、大学の社会貢献を深めつつ、さらに充実した活動を進めていきたいと思っています。(生形貴重教授)



**教職支援センター  
夏の活動報告**

7月から8月にかけて、大阪府教員採用試験の2次試験(面接、模擬授業及び場面指導)の対策を行いました。また小学校全科の筆頭試験対策も進めました。

9月27日(土)、28日(日)の1泊2日で教職支援合宿「先生になろう!応援合宿」を行いました。教職支援センター主催で、今年度は昨年度に引き続き第2回目の実施となりました。昨年度好評だった京都岡崎地区での合宿でしたが、



今年度は京都嵐山地区(花園会館)に、1年生13名、2年生9名、引率教員4名の総勢26名で向かいました。27日は嵐山に集合、自由散策を楽しんだ後会場に向かい、13:00~16:30のプログラム(教員採用試験について、一般教養科目理科の過去問演習)と19:00~21:00の夜の部のプログラム(教職教養について、一般教養科目数学の過去問演習)をこなしました。翌日28日は朝、妙心寺境内を散策しながら、仁和寺御室会館まで移動し、9:30~12:30のプログラム(キョウウシの心得、保育士採用試験について、ワークショップ「私の相談、聞いてください」)を行いました。大変なプログラムでしたが、学年を超えた交流もでき、将来に向けてのモチベーションアップにつながった2日間だったのではないのでしょうか。(谷村綾子講師)



# キャンパスライフ

学生たちの課外活動は、学部学科の枠を超えた交流の場。今回も4団体の活動を紹介します。興味をお持ちの方、ぜひ一緒に活動してみましよう。

## 金蘭ファイルハーモニー

金蘭ファイルハーモニーは現在17人で活動しています。週に1回合奏があり、個人練習・パート練習は部員の各空き時間に行っています。吹奏楽部としてはまだまだ少人数ですが、それでも自分たちらしい演奏、そして、聞いてくださる方に楽しんでもらえるような演奏ができるように一生懸命練習に励んでいます。



今年七夕祭りに参加し、たくさんの人たちに私たちの演奏を聞いてもらえることができます。また、大学祭にも参加します。メジャーなポップス、アニメソング、吹奏楽曲などを演奏します。ぜひぜひ聞きに来てください。

## 箏曲部

私たち箏曲部は現在部員9名で活動しています。主な活動は演奏会への参加、入学式やオープンキャンパスなどの学内行事での演奏です。このような演奏をさせてもらうときは1ヶ月くらい前から週に2〜3回程度、その他のときは月に1〜2回程度の練習を行っています。また、定期的に先生に来ていただき、お稽古もしています。

箏曲部、お琴と聞くとおしとやかで古風なイメージがあるかもしれませんが、それだけではありません。最近話題の和楽器バンドの一員でもあるように、お琴での演奏の幅は多種多様で

す。実際に私たちも、「うさぎ」や「さくら」などの古くから愛されている楽曲、「いつも何度でも」や「もののけ姫」などのジブリシリーズ、「赤いスイートピー」などのJ-POP、そして和楽器バンドもカバーしている「千本桜」など、幅広いジャンルに挑戦しています。今後様々なジャンルに挑戦し、より良い演奏ができるように精進して参ります。



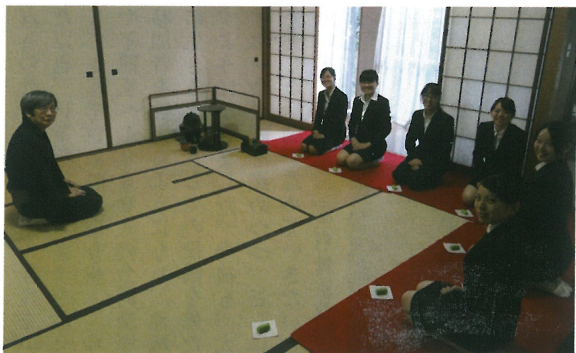
## ストリートダンスサークル



ストリートダンスサークルは、現在6名で活動しています。2号館4階の舞台表現室で練習していますが、個人練習をメイニングに行っているので舞台表現室が使用出来る時間帯に自由に使用し、個々のレベルをアップさせていきます。練習メニューや指導者もなく自分たちの好きなダンスを踊れるように日々練習しています。また個人活動として外部のショーコンテストやバトルなどに参加し結果を残している人もいます。全員が看護学科ということもあってなかなか練習に参加出来ないこともありませんが、限られた時間の中で学業と両立しながら練習に励んでいます。これからも頑張っていきたいです。

## 茶道部

茶道部では、図書館下の茶室にて主に月曜、火曜、水曜の5時間目開始時間から活動しています。活動内容としては、お稽古といって礼儀作法から始め、お茶の立て方の一連の動作を実践し、美味しいお菓子とともに茶道を学んでいます。年間行事を通しては、学園祭、お茶会、合宿に積極的に参加しており、学園祭では、普段のお稽古を披露する場となっています。



現在は、看護学科8名、食物栄養学科4名、児童学科2名で活動しており、仲良くお話しながらか交流の持てる場となっております。勉学に忙しい大学生生活の

## 編集後記

土石流・火山の噴火・2週連続の台風と、今年は自然の脅威を思い知らされました。被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。次号は、1月15日発行予定です。ご意見・ご感想などありましたら、是非お寄せください(て)。

## 千里金蘭大学 学報 (第8号)

発行 2014(平成26)年10月25日(土)  
〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-25-1  
千里金蘭大学学報編集委員会  
Tel 06-6872-0673(代)

大学Web <http://www.kinran.ac.jp/>  
携帯サイト <http://www.kinran.ac.jp/mb/>  
公式Twitter <https://twitter.com/SenriKinranUniv>  
受験生応援サイト <http://www.kinran.ac.jp/cheer/>  
受験生応援ブログ <http://www.kinran.ac.jp/cheer/blog/>

中で、茶道というのは、自分自身の心を落ち着かせてくれる、リラックスできる場であると思っています。もともと裏千家で習っていた方や、初心者の方もたくさんいますが、顧問の生形先生が優しく一から教えてくださるのでみんな上手になっけていきます。今からでも入部大歓迎なので気になった方は気軽に茶室までお立ち寄りください。